

授業科目(ナンバリング)	地域観光研究B(アメリカ・ヨーロッパ) (CA227) (実践的教育科目)			担当教員	竹田 文雄 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<ul style="list-style-type: none"> 世界文化遺産、世界自然遺産を中心に、広範に点在する主要観光資源の特色を踏まえながら学修する。 アメリカ： 移民、開拓、商業主義に紐づいて今日に至る「地域ごとの多様性」を認識する。 ヨーロッパ： 美術や宗教の変遷と人々や国家の歴史を経て成立した「文化の多様性」を認識する。 主要観光資源の解説にはヴィジュアル資料も使用することにより、魅力の本質の理解度を深める。 							②⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	世界文化遺産、世界自然遺産を中心とする代表的な観光資源の情報を的確に収集し、「いまの様相」を説明できる。				・随時試験	30%	
情報収集、分析力							
コミュニケーション力	学内外での授業への積極的な参画、およびアクティブラーニングの実践ができる。				・授業参画度	20%	
協働・課題解決力							
多様性理解力	多民族多文化が共生するこれらの広範な地域に存在する主要観光資源群の「地域ごとの多様性」を理解し、取りまとめることができる。				・随時試験	50%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>随時試験 20 点 (授業の理解度。ポートフォリオ小テスト。授業中に随時実施予定。)</p> <p>随時試験 60 点 (授業の理解度及び明解度。ポートフォリオ小テスト。授業第 15 回目に実施。)</p> <p>授業参画度 20 点 (授業課題への取組み姿勢、質問・コメント等の有無とその回数。)</p> <p>諸々のフィードバックは、ポートフォリオを用いて、または授業時間内に適宜実施していく。</p>							
授 業 の 概 要							
<p>担当教員の旅行業実務経験と知見を踏まえた実践的授業である。主要な世界遺産をピックアップしつつ、文化的・歴史的背景を踏まえた上でこれら主要観光資源の「いまの様相」を学修していく。視聴覚的教材も使用しながら多様な観光資源を見ていくことで、「気づき」や「感想」を学生がポートフォリオを用いて発信できる機会も設けていく。なお、学修上のキーワードは「文化の多様性」と設定する。なおカリキュラムの進行状況によって方面を入れ替える場合がある。この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は 180 分とする。</p>							
教 科 書 ・ 参 考 書							
<p>教科書：特に指定しない。</p> <p>参考書：『きほんを学ぶ世界遺産 100 世界遺産検定 3 級公式テキスト』 世界遺産検定事務局著 マイナビ出版</p> <p>指定図書：『アメリカ素描』 司馬遼太郎著 新潮文庫</p> <p>『ヨーロッパものしり紀行』 神話・キリスト教編 紅山雪夫著 新潮文庫</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>授業中に投影するスライドは、ポートフォリオには掲載しない。よって毎回の授業においては、メモを取ることを習慣づけること。参考書の購入は学生の判断に委ねる。授業理解度向上のポイントは「地域ごとの多様性」「文化の多様性」にどれだけ興味を持てるか？である。たとえば「地球温暖化に伴う海面上昇が冬のヴェネツィアにもたらす影響」「カリフォルニア州の森林火災がワイン生産にもたらす影響」等、世界の情勢に日頃から関心を持つことが肝要である。「欠席・遅刻・私語・出席登録後の退出」の無い授業への参画を期待する。また他の学生に迷惑をかけないように留意しながら受講すること。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予習・復習 ・事前のレジュメ読込みによる予習が中心。 ・予習は書き表すこと。
1	オリエンテーション アメリカの基礎知識	・授業全体のガイダンス。 ・北米・中米・南米の特色、地理的要件と観光資源について概観する。	アメリカ合衆国の建国について調べる。
2	北アメリカ大陸の観光資源	アメリカ合衆国およびカナダの観光資源と世界遺産の特徴を把握する。	アメリカ合衆国、カナダの世界遺産を調べる。
3	中部アメリカ・南アメリカ大陸の観光資源	中部アメリカ、南アメリカ大陸の主要な先住民文化、観光資源および世界遺産の特徴を把握する。	中部アメリカ、南アメリカ大陸の世界遺産を調べる。
4	ヨーロッパの基礎知識	ヨーロッパの特色、地理的要件と観光資源について概観する。	ヨーロッパにどのような国々があるのか？ 位置関係や特色を調べる。
5	ギリシャの観光資源	ヨーロッパ文化の原点としてのギリシャ、その代表的観光資源と世界遺産の特徴を把握する。	ギリシャの観光資源と、パルテノン神殿、メテオラについて調べる。
6	イタリアの観光資源（1）	ローマ帝国、キリスト教の国教化、教皇と王権の対立、などに紐づくローマの観光資源を把握する（1）。	ローマにある観光資源、特に古代ローマ期の遺跡について調べる。
7	イタリアの観光資源（2）	ローマ帝国、キリスト教の国教化、教皇と王権の対立、などに紐づくローマの観光資源を把握する（2）。	ローマの4大パシリカとヴァチカン市国の衛兵について調べる。
8	イタリアの観光資源（3）	ルネサンスの内容とフィレンツェの観光資源および世界遺産の特徴を把握する。	フィレンツェの観光資源と、ヴァザーリの回廊について調べる、
9	イタリアの観光資源（4）	海洋都市国家であったヴェネツィアの観光資源と世界遺産の特徴を把握する。	ヴェネツィアの観光資源、サンマルコ広場について調べる。
10	フランスの観光資源（1）	首都として繁栄したパリの歴史的観光資源および世界遺産の特徴を把握する。	パリの観光資源と、パリにある建築物の世界遺産を調べる（3つ）。
11	フランスの観光資源（2）	フランス各地方の観光資源と世界遺産の特徴を把握する。	パリ以外のフランス各地方にある建築物の世界遺産を調べる（3つ）。
12	イタリア・フランスの美術・芸術について	イタリアおよびフランスの芸術文化、食文化、美術等を概観する。	イタリア・フランスの文化全体について考えてみる。
13	エジプトの観光資源	古代4大文明のひとつ、エジプトの観光資源と文化遺産の特徴を把握する。	エジプトの文化遺産、歴史、美術を調べる。
14	スペインの観光資源 その他	・キリスト教とイスラム教が交錯したスペインの観光資源と世界遺産の特徴を把握する。 ・その他補足。	スペインの文化遺産、歴史、美術を調べる。
15	総復習 期末随時試験	総復習。 これまでの学修内容の習得度、理解度に関して試験を行う。	予：14週までの授業全体のレビュー。